

所長のことば（2月）

当事務所では、平成26年度のスローガンとして“コミュニケーション&チームワーク”を掲げ、所員127名（非常勤職員、臨時職員を含む。）が一丸となって業務に取り組んでまいりました。

今年度もあと1カ月となり、今年度の取組について振り返ってみました。

まず、所内における各種の研修や現場見学会の開催です。

経験の浅い若手職員に対し、ベテランの先輩職員がノウハウを伝える「OJT研修」を実施しています。一言に土木技術と言っても、道路、河川、海岸、砂防、急傾斜地等と分野が広く、種類についても土砂、コンクリート、鉄筋、アスファルト舗装、橋梁、水門等々、多種多様の技術が用いられ、その現場条件も千差万別です。



橋梁耐震補強工事現場にて(OJT研修)

私たちが先輩方から教え込まれた技術力を、次の世代の技術者へと伝え残していく大切な取組です。まさに、土木技術が“経験工学”と呼ばれる所以ですが、若手職員とベテラン職員とのチームワークづくりにも役立っています。

皆さんは、イラスト等を用いた工事PR看板を御存じでしょうか？工事の目的や内容についてわかり易く紹介しているものです。これも、前述のとおり現場によって様々です。

このため、当所では技術職員全員が見る立場になって評価し合い、優良作品を選定しました。

様々な視点から意見を出し合うことで、よりわかり易い、より注目されるデザインづくりに役立てるとともに、職員同士のコミュニケーションにも役立っています。



PR看板研修会のようす



工事PR看板の事例

現場見学会は、2回開催しました。

1回目は、管内に実績が少ないトンネル工事について、現場の実施状況を学習するための見学会を開催しました。中部地方整備局沼津河川国道事務所及び県沼津土木事務所にお世話になり、工事中の現場を経験することができました。

2回目は総務や用地等を担当する事務職員を含む、全職員を対象とした管内の工事見学会です。現場に接することが少ない職員に、事業の目的や内容を知ってもらうことができ、職員全体のコミュニケーションも大いにアップしました。



トンネル現場見学会



管内の工事見学会

次に、所内における技術発表会の開催です。

所内に7つある技術課の代表者が、担当する業務の中からテーマを決めて所内で発表しました。各課対抗とあって白熱した発表会となりましたが、工事第1課の佐藤君が優勝し、県大会への事務所代表に選出されました。

今年度は入賞を目指して、所内発表会の後にも課員や事務所幹部への発表練習を何度も繰り返しました。佐藤君本人には大変な苦労だったと思いますが、まさに所内一丸となって県大会に臨みました。その結果、見事、最優秀賞を頂くことができ、これもチームワークの結果だと思います。



県大会の表彰式(前列中央が佐藤君)

また、県が管理する河川の清掃や除草等の活動をしていただいている団体の皆さんと、「リバーフレンドシップ」の同意書を交わしています。昨年3月末時点における管内のリバーフレンドは155団体と、県内事務所ではトップです。地域の皆さんの河川愛護に対する意識が非常に高いことはもちろんですが、住民と行政とのコミュニケーションが大切です。

今年度も新たに29のリバーフレンドが加わりましたが、これも県内でトップでした。

今後もコミュニケーションとチームワークを大切に、オール島田土木で公共サービスの向上に努めてまいります。

1年間、本コーナーをご覧いただきありがとうございました。



県の野球大会優勝(中央が筆者)

平成27年2月27日
島田土木事務所長 杉本 則尚